

## 新旧対照表

【水酸化カリウムに対して課する不当廉売関税に関する取扱いについて（平成 28 年 4 月 8 日財関第 468 号）】

（注）下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>4 不当廉売関税が課される申告の端数計算 不当廉売関税が課される場合の端数計算は、次のとおりとなるので留意する。 (例) 大韓民国原産の特定貨物の例（食用ではない場合）</p> <p>① 一般関税 (CIF 価格) (税率 (協定税率))  <math>3,285,932円</math>  <math>\downarrow</math>  <math>3,285,000円 \times 0.039 = 128,115円</math> (端数処理前)  (端数処理後)  <math>\downarrow</math>  <b>128,100円</b> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>② 不当廉売関税 (CIF 価格) (税率)  <math>3,285,932円</math>  <math>\downarrow</math>  <math>3,285,000円 \times 0.495 = 1,626,075円</math> (端数処理前)  <math>\downarrow</math>  <b>1,626,000円</b> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>③ 消費税 (内国消費税等課税標準額) (税率)  <math>3,285,932 + 128,100 + 1,626,000 = 5,040,032円</math> <u>7.8%</u>  <math>5,040,000円 \times 0.078 = 393,120円</math> (端数処理前)  (端数処理後)  <u><b>393,100円</b></u> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>④ 地方消費税 (税率)  <u>393,100円</u>  <math>\frac{22}{78}</math>  <math>\frac{393,100円}{22} \div 78 = 110,874円</math> (端数処理前)  (円単位未満切り捨て)  <math>\downarrow</math></p>	<p>4 不当廉売関税が課される申告の端数計算 不当廉売関税が課される場合の端数計算は、次のとおりとなるので留意する。 (例) 大韓民国原産の特定貨物の例</p> <p>① 一般関税 (CIF 価格) (税率 (協定税率))  <math>3,285,932円</math>  <math>\downarrow</math>  <math>3,285,000円 \times 0.039 = 128,115円</math> (端数処理前)  (端数処理後)  <math>\downarrow</math>  <b>128,100円</b> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>② 不当廉売関税 (CIF 価格) (税率)  <math>3,285,932円</math>  <math>\downarrow</math>  <math>3,285,000円 \times 0.495 = 1,626,075円</math> (端数処理前)  <math>\downarrow</math>  <b>1,626,000円</b> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>③ 消費税 (内国消費税等課税標準額) (税率)  <math>3,285,932 + 128,100 + 1,626,000 = 5,040,032円</math> <u>6.3%</u>  <math>5,040,000円 \times 0.063 = 317,520円</math> (端数処理前)  (端数処理後)  <u><b>317,500円</b></u> (端数処理後)  (納付税額)</p> <p>④ 地方消費税 (税率)  <u>317,500円</u>  <math>\frac{17}{63}</math>  <math>\frac{317,500円}{17} \div 63 = 85,674円</math> (端数処理前)  (円単位未満切り捨て)  <math>\downarrow</math></p>

新旧対照表

【水酸化カリウムに対して課する不当廉売関税に関する取扱いについて（平成 28 年 4 月 8 日財関第 468 号）】

（注）下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<u>110,800円</u> （端数処理後） （納付税額）	<u>85,600円</u> （端数処理後） （納付税額）